

ある日の育児日記から

(64)

佐藤 和代



圭もとうとう小学生です。ついこの間までおっぱいを飲ませていた気がするのにな。なんて感傷はさておき、今は、学校で使うものをそろえるのに、ちょっと忙しい思いをしています。

学校の説明会に行ったら、手提げのサイズはこれくらい、消しゴムは白いものに限る、筆入れはカンのものは不可、などごまごま説明がありました。けっこう面倒なのね。加えて、びっくりしたことごとつ。学校でももらししたり、下着を汚したりした場合、保健室で下着を借りられるとか。そしてその場合、新品を購入して返すことに

なっている…え？ 洗濯

して返すんじゃないの？

「人の着た下着は着せたくないという声がありま

して…」私はちょっと、

カルチャーショックです。保育園では皆一緒に

なっところばわって、よだれだっておしっこ

だっって平気で友達と共有(?)していたのね。ま

あ、小学校には思春期の女の子までいるわけだし

∴でも何か釈然としないものを感じてしまう。

大きくなれば人のものはきたくないと思っって当たり

前とは考えたくないし、新

品を買うことに何も抵抗を

感じないのもいやです。

この際、圭の道具類は、

できるだけ新品を買わずに

すませうと。えーと、これ

はケチとは違うのよ、圭。

